
ぬらりひよんの孫～真の道を貫く者～

近所の野良犬

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ぬらりひよんの孫〜真の道を貫く者〜

【Nコード】

N8126Z

【作者名】

近所の野良犬

【あらすじ】

両親を殺され、独り身になった半妖の康鬼^{やすき}。ぬらりひよんに力を認められ、奴良組に入り、数々の試練を乗り越えていく。

この小説はオリ主メインですが、話は原作寄りです。

プロローグ(前書き)

それではプロローグからどうぞ

プロローグ

ザアアアア……………

激しい雨が場全体を濡らす。

そんななか、一人の少年が立っていた。

年は15、6くらいである。しかし、服は所々が切り裂かれ、いろんな所から血が流れている。

そしてその右手には一本の刀が握られていた。

さらに少年の目の前には少年に斬られたであろう死体が何人もいた。

そしてその少年はまたゆっくりと歩き出した。

ある言葉を呟きながら、

「誰だ……………オヤジを殺したのは、誰だ。」

呪いのようにその言葉をしゃべり続け、一歩、また一歩と進んで行った。

主人公設定（前書き）

とりあえずオリ主の設定です。

主人公設定

おにづかやすき
鬼塚康鬼

鬼の妖怪と人間のハーフ。

人間の時と妖怪の時の姿を自分で変えられる。

人間の時は鯉伴の髪が短いバージョンみたいな感じ。

妖怪の時は髪の色に赤が混じり、目も赤くなる。

妖怪になると自分の体質を炎に変換することができる。

性格は人間の時も妖怪の時ものんびりした感じ。

だけど怒ると怖い（ぬらりひょんが土下座するくらい）。

奴良組幹部のリーダー的な位置におり、ぬらりひょんと一緒に全体の指揮をとることもある。

一人称はどちらとも俺

主人公設定（後書き）

まずはこんな感じでした。進行次第でちよくちよく変わります。

ぬらりひょんと康鬼（前書き）

この頃の康鬼は常に妖怪バージョンだと思っていて下さい。

ぬらりひょんと康鬼

康鬼 side

ザン！

ズシャ！

ドシュ！

斬っても、斬っても分からない。

何故俺はこの妖達を斬っているのだろう。

決まってる、親父とお袋の敵をとるためだ。

でも、こいつらは違うかもしれない。

違ってもいい。こいつらは殺されて当然なんだ。

親父は妖の組をつくり、組を少しでも大きくしていこうと頑張ってきた。

こいつらもそれに応えてついてきた。

なのに親父が人間であるお袋と結婚すると手のひら返したように親父を責めた。

情けない大将だ、妖の恥だと言って離れていった。

それを話した親父の悲しそうな顔は今でも覚えている。

そして、一昨日の夜、何者かに殺された。

こいつらが親父を見捨てたから、人間と結ばれ、子を生んだ、そんな理由で親父を捨てたから、あんなに強かった親父が殺されたんだ。なのにこいつらは、関係ないように酒を飲み、宴をして、のうのと生きている。

そんなやつらを許しておけるか？許せない、許しちゃいけないんだ！！

そうやって自分に言い聞かせながら俺は妖達を斬っていった。

外に出ると、雨が降っていた。雨が俺に付いている血を流してくれる。別に俺自身に傷はない（・・・・・・）のでしみて痛いというのではない。むしろ気持ちいい。

俺は空を見上げた。もう親父の組にいたやつらはほぼ全員殺した。

で？

「俺はこの後、誰を斬ればいいんだ？親父とお袋の敵が見つかるまで、怪しい奴を片っ端から斬ればいいのか？」

空に向かって尋ねてみる。当然答えは帰ってこない。なんだか馬鹿

過ぎて笑えてきた。

「お前かい？うちの組のシマ荒らしてんのは」

突然前から男の声が聞こえてくる。視線を前に戻すと、俺の目の前に髪が長く、白い着物を着け、刀を持った男が立っていた。

これが俺の運命をかえるきっかけとなった出会いだったことは、この時の俺は知るよしもなかった。

ぬらりひょんと康鬼（後書き）

よろしければ感想等をお願いします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8126z/>

ぬらりひよんの孫～真の道を貫く者～

2011年12月26日00時55分発行